



鴉の声

今年はまだ少し早くから雪に見舞われると思っておりましたが、この地方は例年の様に立春を過ぎてから二度ほど降りしました。

さて、かなり昔に知己を得た運勢学の先生から立春を過ぎると、その歳の理を書かれた葉書を頂きます。運勢学上の一年は立春から始まると言われており、今年は、己亥八白土星の歳、今年を支配する天の気は「己（つちのと）」上の者は「信」重んじ、乱れた事・混乱した状態に筋を通して紀律・規律し、己を糺し、変化を即していくべきことを意味し、地の気「亥（い）」は、下の者は善悪を正しく判断する智を備え、力を蓄えながら危険やチャンスに備える充電の時であることを示しているという事です。そして、人の気は変革の星「八白土星」。「もの事が、時代の流れが、大きく変わ

る更改・変動の年」であることを示す。まさに今年は御代さえ変わる大変革の年で、必要なことは断絶することなく継続し、変えるべき事は果敢に変革し、変えるべき事と変えざるべき事をしっかりと判別しなければならぬという年であるということです。

話題は変わりますが、昨夏の新聞記事に、棋士・羽生善治さんの「決断力を磨く」と題した講演会を聴いた記者の記事が掲載されておりました。その記者は全力で土俵人生を生きぬいた、稀勢の里関やサツカー・侍ジャパン等に重ねていた様ですが、丸い土俵も四角いピッチも八十一マスの将棋盤も、無限の可能性を求めるという意味では共通事項があるのではないかといいことです。一つの局面において平均八十通りぐらゐの選択肢があるという。中から二つ、三つの候補を選び七八か七七の可能性は捨てている。どのよう

カメラの自動フォーカスに似て何を中心に据えるのか、一秒未満で瞬間的にやっつけてしまう。経験と学習で得た「直観」のなせる技である。次に具体的な「読み」に入るのだが、「数の爆発」という難問題にぶつかると自分の三手に対して相手の三手も考える。十手先まで読むとなると三十乗だから約六万手まで膨らむ。こうなると可能性を考えるのは現実的ではない。そこで頼るのが「大局観」。過去から現在に至る全体像を総括する作業が、直感と読みに加わり、具体的な一手が生まれてくる。大局観の反対は「木を見て森を見ず」視野が狭い状況を表す。「大局観を使えば、無駄な力や展開、考えを断つことができる。」過去の経験則に基づく「大局観」。「直観」は我々の仕事の中でも活かせることではないかと思えます。

(総合施設長 齊藤 操)

ときがね な ひととき

※法人内の事業所の日々の様子をお知らせします。

鵜嶺の家（児童）

インフルエンザが各地で大！大！大流行中の1月。皆さんいかがお過ごしですか？早いもので年が明けてもうひと月が経ってしまいました。

さて、鵜嶺の家（児童）には利用されてから今年で1年が経つ4歳のお友達がいます。利用当初はママの手が離れた瞬間大号泣の毎日でしたが、日が経つにつれ笑顔も増えていき、今ではスタッフと目が合うだけでニコッと微笑んでくれ、スタッフはいつでもドキッとさせられてい

ます。

最近の室内遊びでは、インフルエンザにも負けない勢いでお化けごっこが大流行！！小部屋を暗くして、入ってきたスタッフを「うわああああ！！」と勢いよく驚かせて大爆笑の子ども達です。小学生の子ども達は、UNOでスタッフとガチンコ勝負をしたり、スタッフも子ども達と楽しく過ごしています。また、小さな友達に、人生ゲームのやり方を教えてあげたりと、子ども達同士の関わりも多々みられ深く感動しています。まだまだ紹介したい楽しいエピソードがたくさんあります。それは2019年を通してご紹介していきます。今年も鵜嶺の家を宜しくお願い致します。（深澤）

ぼけっと

大寒から立春前までの間は冬から春へ向かう季節になります。寒暖差の大きな時期、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年には平成最後の冬休みでした。体調を崩すお子さんも少なく、みんな元気にぼけっとへ通って来てくれました。

クリスマス会では、ロールケーキにクリームをいっぴいのせる子、慎重に丁寧にデコレーションする子、子ども達の個性が出るケーキが出来上がっていました。サンタさんからのクリスマスプレゼントに、プラレールの電車と新しいリカちゃんハウスを貰い子ども達は興味津々。早速、お世話好きな女の子達はリカちゃんを着替えさせたりと楽しい様子。男の子達はプラレールの線路を作り始めて、電車を走らせて楽しむ子、そこにトンネルや坂を作る子などなど一丸となり、大きな作品

が出来ました！！

また、お天気の良い日に大きな公園へ行き、草花好きなR君は自分の草花図鑑を持ち、『オナモミ』の実をお友達と夢中になつて探し、いっぴい見つけ満足顔。後日、毛糸と割り箸で釣竿を作り、採った実を魚に見立て釣り遊びをしていました。子どもたちの創造力は無限だなあと感じた日々でした。

年始には、皆で日吉神社と芝山仁王尊へ初詣に出掛け、『今年も元気に過ごせるように』とお願ひしました。まだまだ寒さが続きます。皆様体調にお気を付けてお過ごし下さい。（齊田）



風邪やインフルエンザやノロウイルス等の感染症が大流行して、体調を崩される方が多く見られる中、皆様、いかがお過ごしでしょうか。手洗いうがいを忘れずに行つて、できる限りの対策をしていきたいですね。

ところで、暦の上では節分・立春を迎え、春になりましたが、実際はまだ寒中のようなとても厳しい寒さを迎え、身も心も凍えるような状態が続いています。しかしこのような寒さも徐々に和らいでいき3月、4月には桜などが咲き誇る美しい季節を迎えていきます。季節の移ろいは我々が感じている以上に早いものです。季節の移ろいを感じるのも大切ですが、季節にのまれすぎないようにしていきたいです。

先日、初詣に出かけた際、電車に乗ったのですが、近ごろはいろいろな表示があり、びっく

りしました。優先席シート、マタニティマーク、ヘルプマークなどなど覚えるのも一苦労ですね。それだけ大事なマークなので表示を分かり易くまとめることができれどもつと理解が深められるのかなと思いました。私達は病院への通院の付き添いやお出掛けなど、利用者の方と関わる事が少ないのですが、その中でも戸惑うことが多いので、利用者の方もつと大変だと思えます。表示の大型化や見栄えがともよくなっていますが、そこだけにとらわれてしまつて本末転倒になるので、利用者との関係性の向上などを図つて、表示だけではなく全体から見た本質を忘れないようにしたいです。(亀山)



毎日寒い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしですか?この冬はなかなか雨が降らず、空気が乾燥している日々が続いている影響もあり、インフルエンザや胃腸炎の流行が各地で猛威を振るっていますね。我が家も数名、インフルエンザに感染してしまい、バタバタした日々を送りました。感染すると本人も辛いし、周りも大変ですよ。マスク着用や手洗い、換気や加湿を心掛け、なんとかこの時期を乗り越えましょう。

さて、私事になってしまいましたが、先日、家族で地元のマラソン大会に参加して参りました。最初は友人に誘われ、付き合いで仕方なく走ろうという気が、いざ走ってみると、程よく疲れ、有意義な時間を過ごさせてもらいました。未就学児の親子マラソンだったので、1kmに

も満たない距離でしたが、家族で「来年もまた参加したいね」という会話にもなりました。順位は後ろから数えた方が早いくらいでしたが、走り終えた達成感はなくも、気持ちのいいものでした。何事も、やり遂げると少なからず達成感を感じて嬉しいですよ。朝マラソンをするなんて社会人になってから一度も経験がなかったものですか、年に一度くらいなら、いつもと違うこんな朝も良いかもしれません。因みにマラソン大会に参加した翌日、家族がインフルエンザと診断され、いつもと違う朝を予想外で二日連続迎えた我が家でした。寒い日がまだまだ続きませんが、皆様ご自愛ください。(行木)



ハンドワーク（生活介護）

本格的な冬の到来を迎え肌をさす寒さに身をすくめてしまう今日このごろです。

お正月に入り、利用者の方の中にも体調を崩されたとのお話を数名伺いました。現在は回復して元気に来所されホッと安心しております。

昨年末の事ですが、冬晴れの暖かい日に日吉台の丸山公園へ行きました。遊び道具をあれこれ持ったの出発です。到着すると、広い芝生はハンドワークの利用者の方の貸し切り状態です。自由に好きな遊び道具を手に取り動き始めました。風船を膨らませようと口いっぱい息を吹き込みますが、なかなか大きくなりません。「がんばって！」の声がかかります。紙ヒコーキを折った男子チーム。あれ？なかなか飛びません。後ろにハラリと落ちてしまいます。「向かい風だよ！反対に飛ばし

て！」と職員の声と笑い声。「走ろう！」と呼びかけると数名の方

が周囲の道を走りだし競争です。無心に走り続ける皆さんに職員は息を上げてしまいました。そんな時です。赤い風船に目を止めた小さな女の子とおばあさんが仲間に入って下さりました。風船バレー、ボール投げにフリスビー。ワイワイガヤガヤ笑い声が聴こえます。その中にはカワイイ歓声も混ざって楽しそうです。あつという間に時間が経ち、お別れの時がきました。駐車場で手を振りお世話になったおふたりを笑顔で見送らせて頂きました。利用者の方々の表情から楽しめた様子が見てとれました。公園でのおふたりとの出会いは、昨年末のちよっぴり温かい心に残る思い出となりました。また、出会いたいですね。

今年も多くの人との出会いを大切にし交流を持つことができたら良いと思います。（小林）

ハンドワーク （就労継続支援B型）

巷ではインフルエンザで厳戒態勢中ですが、ハンドワークでは冬休み中に風邪をひいて寝込んでいた人はいましたが、年明け1週間後には皆元気になり現在は風邪気味の人はおらず、元気に仕事をしています。皆さまにおかれましても、体調を崩さないことを祈っております。

さて、年末の通信でも少し触れましたが、12月21日に就労Bと生活介護のメンバー合同で忘年会に行つて来ました。合同になった今年度、総勢29人での移動手段は送迎車だけでなく、路線バスも利用しました。普段あまり乗らない公共の乗り物での移動はかなり楽しみだったメンバーですが、振り返ってみるとその日に限ってあいにくの雨で、傘を持つての移動でした。忘年会の本番は、食べ放題。普段は偏食気味で何が食べられるだろう？と思っていたAさん

は、わらびもちに目覚め、何回もおかわりをしていました。普段は食欲旺盛で他の人のおかずも食べたいEさんは、意外にお肉にはあまり興味を示さず、お寿司ばかり食べ、最後に他の人のお皿からくすねて食べていました。お腹いっぱいになっての帰り道は、雨もやみ大満足な日を過ごせました。残念ながら参加できなかった人には、後でお土産を渡しました。来年の忘年会を楽しみに、一年を過ごしてもらえたらと思います。

（豊田）



五根の家（グループホーム）

新しい年が始まり、気持ち新たに皆さんお過ごしのことと思います。寒さも増し、乾燥が続きます。インフルエンザが流行っておりま。皆さん、体調を崩さぬようご自愛下さい。

12月10日（月）、グループホームに新しくKさんが入居されました。小規模多機能ホームを利用されていた方で、以前から私たちとも交流があり、入居前から居室を何度も見に来られては顔馴染みのスタッフに嬉しそうに居室を案内しておられました。入居されてまだ少しですが、もうすっかり家族です。朝は誰よりも早起きされ、ポストから新聞を取ってくるのが日課で、今日のニュースやチラシを必ずチェックされ、私たちにも指差しで教えてくれます。天気、相撲のことはいちややく情報を仕入れ、雨の情報や、横綱が負けたり、休場のことを教えて下さるので、スタッフは

天気や相撲も詳しくなります。

お祭りや行事のお出かけが大好きで、見逃さず参加され楽しんでおられます。12月24日のクリスマススイブの日は、みんなでケーキ作りをしました。これからも、もつと楽しく過ごしていただけるよう私たちも入居されている方お一人おひとりに合わせた環境作りを心がけ努力していきたいと思っております。

日増しに寒くなり、空気も乾燥しております。お年寄り、体力が低下されているので、居室の湿度にも注意をし、ウイルスを呼び込まないよう、濡れタオルを下げる等して、対策しています。（齋藤）



五根の家（小規模多機能ホーム）

正月気分、箱根駅伝の東海大学初優勝や高校サッカーで二年連続準優勝の流通大学柏高校（千葉県代表）の活躍を見ていたと思ったら、あつという間に節分の季節を迎えようとしています。

世間ではインフルエンザが大流行しておりますが、利用者方の中でもインフルエンザにかかった人はおりますが、数人でも済んでおります。これからのインフルエンザにかからないために、利用者方・スタッフも衛生面に注意して、マスク・うがい・手洗い等々、体の抵抗力を高めるために栄養バランスのとれた食事をとり、十分な睡眠時間（休養）をとり、疲れをとることに努めていきます。五根の家では、お亡くなりになる方もいらっしゃいますが、元気に小規模多機能ホームからグループホームへご入居される

方、他の入所施設に利用を変えた方、利用をやめて去っていく方がおられます。皆さん印象深い方なので、私自身、去る寂しさを感じた時期でもあります。

特に、毎日多くの時間を支援した利用者の方は印象深く残っております。「ある利用者の方の行為に対して」困るから、どうかして欲しい」と嘆いていた方も、いざ居なくなってみると「寂しいね」と話しております。私以外のスタッフも同じような寂しさを感じているのではないかは思っています。去る方がいたら来る方もおり、利用者の方お一人おひとりの思いや願いを受け止め、その人らしく暮らすお手伝いを、元気に明るく続けていきたいと考えます。（鎗田）

現在全国的に少子高齢化が進んでおり、人口の減少により労働力の低下が起きております。この様な中で企業経営者においては、人材確保に大変苦労しているようです。特に労働力不足業種は、介護施設、土木工事業、建設業、地方の中小企業等々です。

厚生労働省は働き方改革による採用機会の拡大に向け、転職、再就職者の受け入れ促進に関する指針を策定しました。年齢にかかわらず適正な評価採用が行われるように、企業側に公平で柔軟な処遇を求めました。15歳～64歳の生産年齢人口が減少する中、企業と労働者のミスマッチを減らして労働参加率や生産性の向上につなげる狙いです。働き方の多様性に伴い、企業・労働者の双方で中途採用や転職、再就職のニーズが高まっている中で、転職が不利にな

らない労働市場が確立できれば、国全体の労働参加率や生産性の向上につながると指摘しております。求職相談者にとっては大変恵まれた時期だと思いません。業種や職種にこだわらなければ、ほとんどの求職希望者は職に就くことができる状況にあります。就労支援員として、求職相談者の希望を詳しく聞き満足していただける様な就職支援に努めたいと考えております。

(斉藤)



いくりんの子は、みんな「おはなしタイム」が大好き。手遊びをしたり、絵本を読んだり、パペットで遊んだりする時間です。保育士が本棚の前に立っただけで手をたたいて飛び跳ね喜び、言われもしないのにちゃんと座って待っています。いつも好奇心旺盛で、部屋中元気に飛び回っているRくんも「おはなしタイム」が始まるのが分かるかと近づいてきてスタンバイしています。こんな姿を見たらもつとレパートリーを増やさなければ！と思わされます。

手遊びや歌は、まだ言葉がきちんと出ていないなりに語尾だけ一緒についてきたり、時には保育士より一步先にフライングしちゃうKちゃん、手の動きを真似するNちゃん・Mちゃん・Nくんと、ビックリするくらいしっかり参加しています。でも、興味のないものにはそっぽを向

いてしまうというとてもシビアな面も多々あります。

好きな絵本は「もこもこもこ」です。本を開くと1ページ目に「しーん」という言葉が：子どもたちは人差し指を立てて「しーしー」とやっています。1番の人気は、保育士手作りのトリックシアター（アンパンマンシリーズ）「いないいないばー」です。一瞬で変化する絵に子どもたちは期待以上の好反応で歓声を上げます。その手応えに保育士は心の中で歓声を上げています。

1月から新しいお友達Mくんも加わり益々賑やかで楽しい「いくりん」となりました。どうぞよろしくお願いします。

(中澤)



学び舎・ゆうすぽーと

お正月が終わり、元気に登校している子どもたち。ゆうすぽーとでは、特別に受験講座を開き、受験生は最後の追い上げに気合が入っています。体調を崩さず、笑うことを忘れず、今迄積み重ねたものを発揮できるように、気持ちを上げて頑張ってくださいと思います。

1月、サテライトでは、ヒップホップ教室が始動！講師が男子大学生ということで、特に女子は楽しみにしていました（笑）受験生以外のゆうすぽーとの子ども達、ふくおかの家の大人達、近所の保育園児達が集まって賑やかに始めました。最初は様子を窺っていた子ども達も、少しずつ体を動かすのと自然に笑顔が溢れます。どうも先生と同じ動きにならず、ヘンテコな動きになり大笑い。体を動かす楽しさ、感情をダンスで表現できること、皆でやるこ

とで得られる一体感等、心豊かに沢山の刺激を受け取ってもらえたらと思っています。

最近サテライトでは「うんち」「うんこ」という言葉をよく耳にします。はてさて自分の子ども時代は…と振り返ります。私が小5で結成したソフトボールチームの会議録ノートに「会議中、うんこ、と言うのは止めて下さい」というような文言を、大人になつてから発見！自分では、私も子ども時代クールで大人っぽいと思っていたので、すごく意外で驚きました。この私達が、高学年の友達同士で「うんこ」を連発していたとなると、まだ低中学年の子ども達が連呼するのは当たり前かも。子ども達を惹きつける「うんこ」の威力の凄さに、改めて感心しています。心が緩んで和むのかなあ。皆さんの子ども時代はどうでしたか？（安井）

ひなたぼっこ・椿森

心新たに新年を迎えてから、早くも1か月が過ぎました。寒さ厳しい日が続いております。インフルエンザも流行し、辛い思いをされた方も多かったのではないのでしょうか？ひなたぼっこ・椿森では、その寒さの中、皆さんお元気で通いに来られ、体を動かしたり、好きな歌を歌っては寒さを吹き飛ばしているといった様子です。

先日、『認知症の人と家族の会』にサポーターとして参加してきました。寒い時期で風邪を引かれている方も多く、参加された方は少なかったのですが、ラジオ体操や卓球、的当て等、楽しい時間を共に過ごさせて頂きました。普段介護をされているご家族が悩みを打ち明けられる場所、気持ちを共有できる時間を持つという事は、とても大切なことだと思います。私も今まで悩みを誰かに話すこと、そ

れを共感してもらえることで救われた事が多々ありました。どんな場合でも同じなのではないのでしょうか？認知症の方の不安を少しでも軽減するには、身近にいるご家族の不安の軽減が必要不可欠となります。その手助けが少しでも出来たら幸いです。それは日々の支援でも言える事だと思うので、ひなたぼっこ・椿森も常にその手助けができる存在でありたいです。

春の訪れを待ちわびながら、利用者様も職員も共に健康に十分留意して過ごしたいと思えます。（鈴江）



まちの保育所空もくば

寒い日が続いていますが、子どもたちは寒さなんてなんのその！「元気いっぱい風の子」です。おかげで私たちスタッフの心も体もポカポカと暖かくしてくれます。北風が吹く寒い日もお天気が良いと外に行くのを楽しみにしています。

「どこに行きたい？」と聞いてみると「西公園！」「ガーガの公園！」などと元気な声が返ってくることもあります。

先日、この時季ならではの活動を楽しみました。レジ袋で作った「たこ上げ」に挑戦しました。公園の広場を駆け回り、風をいっぱい受けたたこは、ふわっふわと舞い上がり、みんなニコニコ笑顔で喜んでいました。

また室内では、雪の結晶の製作をしました。シールを一枚一枚器用に剥がし、結晶の形をした画用紙にペタペタと貼り、あつという間にピカピカと光る



素敵な結晶が出来ました。今、みんなで歌っている「雪やこんこあられやこんこ」にピツタリの作品になりました。みんなが楽しみにしている雪が降るといいですね！

まだ寒さと空気の乾燥が気になる日が続いています。室内の湿度調節や換気を行い、感染症予防にも気を配りながら、元気いっぱい過ごしていきたいと思っています。寒さももう少しの辛抱です。暖かい春が楽しみですね！（坪井）

ふくおかの家

今年度も、終わりに近づき段々と寒さも増し、身に染みてる今日この頃ですね。皆様はいかががお過ごしでしょうか。

ふくおかの家では、1月19日にヒップホップ教室を開催しました。地域の方々にもご参加いただき、みなさん楽しく過ごしておられました。

1月20日には、さくらカフェに参加を予定していましたが、インフルエンザの流行により延期となってしまうため、予定を変更しドライブへ。道の駅に寄り気分転換を図ってきました。

1月30日には、誕生月の利用者さん2名の誕生会を開催しました。昼食時に写真を撮ったり、他の利用者さんやスタッフとで歌を歌いお祝いをし、スタッフより色紙で作ったバースデイカードを贈らせて頂きました。

毎月一度の書道教室やヨガ教室、ヒップホップ教室は、利用



者さんやスタッフも時々参加させて頂き、地域の方々との交流の場として共に過ごさせて頂いています。教室等がない日は、午前中はラジオ体操をしたり、午後は買物や、天気が良く暖かい日はふくおかの家の近所を散歩したりと、利用者さんのペースでゆったりと過ごして頂いています。（宮澤）

企画・イベント情報

穂垂るの会

介護している方々が集まって日々の苦労話等を気軽に本音で話し合う会です。

日時：3月14日(木) 13時半～

会場：ふれあいセンター

2階 創作室

参加費：200円

主催・連絡先：...

穂垂るの会・井上

(090-7171-1701)

ヨガサロン

健康管理、仲間づくりにヨガを始めませんか？旧道の岸本薬局の斜め向かいにある「ありさ」の2階で開催中。

開催日：3月6日(水)

3日20日(水)

10時半～12時

※興味のある方は、ご連絡下さい。

ありさ (50-0362)

〔3月〕親子教室

「ふくおかの家」を利用しているおじいちゃんやおばあちゃん、障害を持った方も参加しています。楽しく学ぶだけでなく、和やかな雰囲気の中で、いろいろなふれあいができる場にもなっていますので、気軽にお越しください。

〔第5回 ヨガ教室〕

日時：3月9日(土)

午前10時30分から1時間

〔第5回 書道教室〕

日時：3月13日(水)

午後4時から1時間

〔第2回 ヒップホップ教室〕

日時：3月23日(土)

午前10時30分から1時間

会場：小規模多機能ホーム

「ふくおかの家」内

(東金市東中島297)

参加費：無料

申込先：ふくおかの家

担当 鈴木・安井

(0475-777-7845)

お知らせ

スタッフ募集

子どもや障がい者、お年寄り等、人に関わる活動に興味のある方、一緒に働きますか？

日数・時間・曜日・内容(介護・

保育・支援・食事づくり・清掃

など)・年齢等ご相談に乗りま

す。

※興味のある方は、ぜひ当法人にご連絡ください。

(533630)

ボランティア募集

趣味や特技、仕事を通じて身につけたスキル、体力等、自分らしさを生かしたボランティア活動をやってみませんか？

ボランティア活動を通じて得られる効果は無限大です。

子どもや障がい者、お年寄り

等、人に関わる活動に興味のある方は、ぜひ当法人にご連絡く

ださい。

(533630)

編集後記

雪が降ったかと思えば、花粉の予報を見かけるようになり、季節の移り変わりにやや疲弊気味です。去年はひどい花粉の症状に悩まされたので、今年は本格的に対策したいと思っています。(S)

時が経つの早いもので、あと2ヶ月で入社してから1年になります。まだ学生だった頃と比べるとできることがどんどん増えてきました。毎日少しずつでも出来る事を増やしていきたいです。(J)



ちばしゃ通信 (Vol. 52)

発行日：2019年2月19日

発行元：ちば地域生活支援舎

編集責任者：宮下・太齋

連絡先：0475-53-3630

子どもの居場所とパーソナル事業 報告会

2019年 **3/6** 水 13:20~15:30

場所:東金文化会館2階 会議室2
(東金市八坂台1丁目2107番地3)



講師

湯浅 誠 (ゆあさ・まこと) 氏
(社会活動家/法政大学教授)

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。
1995年よりホームレス支援、生活困窮者支援に携わる。
2009年から足掛け3年間に内閣府参与に就任。
内閣官房社会的包摂推進室長、災害ボランティア連携室長など。
政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、
日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。

現在、法政大学現代福祉学部教授の他、NHK第一ラジオ「マイあさラジオ」、
文化放送「大竹まことゴールデンラジオ」レギュラーコメンテーター、
朝日新聞パブリックエディター、日本弁護士連合会市民会議委員。

講演内容は貧困問題にとどまらず、地域活性化や男女共同参画、
人権問題などに渡る。

- 対象者 東金市内の福祉・介護関係者、事業者、商工関係者等、
生活困窮者支援に関心のある市民
- 定員 100人
- 参加費 無料(※事前申込要)

プログラム

●基調講演

「貧困・虐待・孤立から
子どもを守るために
…私たちができること(仮題)」

- 「学び舎・ゆーすぽーと」の活動報告
- 質疑応答



参加申込書

FAX.0475-53-3631

参加者氏名 [1]		所属	
参加者氏名 [2]		所属	

●主催 特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎 〒283-0802 東金市東金425-2 Tel:0475-53-3630

●後援 社会福祉法人東金市社会福祉協議会(依頼中)